

令和2年度 SHIBETSU 子ども議会だより



【目次】

- 市長挨拶 1頁
- 議事日程 2頁
- 子ども議会の一般質問と答弁 3頁～
- 子ども議会の流れ 11頁～



ご挨拶

士別市長 牧野 勇 司

令和二年度子ども議会だよりを発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスが全国的に感染拡大し、道民一人ひとりが新しい生活様式や北海道スタイルを実践して感染予防に努めながら、コロナと共存する社会が進んでおります。

このような状況で、去る十二月二十三日に九回目となる「士別市子ども議会」を、新しい市議会本会議場において、学校関係者と保護者のみに傍聴を制限し、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら開催いたしました。

市内四校の中学校から選出された七名の子ども議員が、議会や行政の仕組みを学び、自ら調査研究を重ねて質問事項を作成しました。そして、子ども議会当日、それぞれの身近な疑問や士別市のまちづくりへの思いを堂々と元気よく発表していただきました。

子ども議員の提言は、生活環境・観光・教育の分野にわたり、普段の生活の中で感じ、望んでいる事柄や未来への夢・希望など、貴重なご意見をいただきました。

この「子ども議会だより」は、そうした子ども達の思いが込められた子ども議会を将来に繋いでいくために作成したものです。

今後一層、子ども議会を発展させ、子ども達の思いやまちづくりに対する提言を真摯に受け止め、市政に反映させてまいりますので、今後とも関係者をはじめ市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年度 士別市子ども議会 議事日程

日時 令和2年12月23日（水）午後3時30分開会
午後5時14分閉会

場所 士別市議会本会議場

- 1 開 会
- 2 議事日程の報告
- 3 市長挨拶
- 4 一般質問

(前半議長) じょうもり きこ
城 守 喜湖

前 半	通告議員		質問事項	答弁者
	1	ふじた こうすけ 藤田 康育 (士別南中1年)	ゴミのポイ捨て対策で、市民が定期的に行う「ゴミ清掃日」の創設と清掃した市民への還元としてポイント事業の導入について	市 長
	2	さわだ わか 澤田 和香 (士別中1年)	自分で撮った写真が貼れるオリジナル観光パンフレットの作成について	副市長
	3	はぎた ゆうな 萩田 優那 (士別中1年)	新型コロナウイルスの防止対策として、小・中学校で共同の教材を使用する特別教室へ消毒液の設置について	教育長
	4	ごとうだ らいと 後藤田 来斗 (上士別中1年)	他の学校との交流について	市 長

(後半議長) ごとうだ らいと
後藤田 来斗

後 半	通告議員		質問事項	答弁者
	5	くろかわ こはる 黒川 瑚晴 (士別中1年)	電線に止まるカラス対策について	副市長
	6	おかやま あやり 岡山 綾莉 (士別南中1年)	学校への持参ご飯の食中毒対策について	教育長
7	じょうもり きこ 城守 喜湖 (朝日中1年)	岩尾内湖展望台の環境整備と岩尾内白樺キャンプ場への遊び場の設置について	市 長	

- 5 市長挨拶
- 6 閉 会

ゴミのポイ捨て対策で、市民が定期的に行う「ゴミ清掃日」の創設と清掃した市民への還元としてポイント事業の導入について



1番 藤田 康育 議員 (士別南中学校1年)

問

私は、市の道路に「たばこの吸い殻・袋・ゴミ・空き缶」のゴミが落ちていて、ことに少し残念な気持ちになり、そのゴミを家に持ち帰って処分した事もあった。

このゴミのポイ捨てを減らすために、私から2つのことを提案する。

1つ目は、市民が月1回程度、市内のゴミ拾いをする「士別クリーンデー」をつくり、定期的に取り組むことで、「きれいなまちづくり」につながる、「ゴミをポイ捨てしない」という意識も広がる。また、士別市には多くの合宿者が訪れるので、まちの印象も良くなり、さらに合宿者も増えると考える。

2つ目は、クリーンデーの参加者へのポイント制度として、「クリーンポイント事業」の導入で、佐賀県有田町では、家庭の可燃ゴミの減量化を目的に「有田町古紙リサイクルポイント事業」があり、古紙をリサイクルプラザへ持込むと、ポイントカードが発行され、古紙1キログラムに対しサイクル商品券がもらえ、商店での買い物に使用できる。

私が考えるクリーンポイント事業は、清掃したゴミを直

接環境センターへ持ち込み、その際にポイントカードを発行し、50グラムのゴミに対しスタンプ1個を押し、10個スタンプが貯まると有料のゴミ袋が貰える仕組みだ。

昨年10月から家庭ゴミの有料化が始まり、一般ゴミの袋は、45リットルの10枚入りで1350円と、少し高い値段で購入しなければならぬため、このポイント事業を行うことで、多くの人が参加しやすくなると思う。

また、12月1日からサフォークスタンプ協同組合により実施される「サフォークポイントカード」と連携することで、商店街の活性化にもつながると考える。

答 (牧野市長)

士別には「空き缶等のポイ捨て及び飼犬等のふん害の防止に関する条例」があり、ポイ捨てや飼犬の糞を放置することは条例で禁止しているが、電化製品等の不法投棄の実態がある。この条例は、精神的な条則規定がないため、周知を行い、皆さんに遵守し

てもらおう。また、士別には多くの合宿者が来訪し、監督や選手からは「トイレがきれいなまち」との話があるので、安全安心な地域づくりは重要であり、ポイ捨てをしない、きれいなまちづくりを進める。士別は、クリーンリサイクル月間推進として、自治会協力のもと、清掃の取り組みを行っている。昨年は、春の5月実施時に1千名を超える方に参加頂き、秋にも実施している。さらに、学校・クラブ活動・サークルも協力している。クリーンデーの提案は、自治会にお話をしますが、月1回は負担があるので、そのことも含めて協議していきたい。

クリーンポイント事業については、佐賀県有田町でも古紙のリサイクルポイントを導入しているが、士別の古紙は道内事業所へ出し、トイレレットパーとしてリサイクルしている。ゴミを拾いポイント制にすると、士別のゴミ袋は、ゴミを処理する手数料のため、性質上ポイント交換することは非常に難しく、景品を出すことも禁止しているの

でご理解いただきたい。ただ、ポイントを付与すること

で、サフォークスタンプ協同組合実施のポイントカード「サフォーク」があり、地域通貨として多くの方に買い物で利用してほしいので、ゴミに限らず他のものについても、購入時にポイントがサフォークに付与できるように取り組みを協議していきたい。

ふりかえり

①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと

■議会の難しさや人前での正しい話し方。

■市に対する自分の思いを伝えることができた。

②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみて良かった調査

■効率の良い情報収集の方法や伝えたいことを言葉にする難しさ。

■士別のことをもっと知りた

③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと

■楽しくゴミを拾い、無くす運動。

■若者が集まる事業をしたい。

自分で撮った写真が貼れるオリジナル観光パンフレットの作成について



2番 澤田 和香 議員 (士別中学校 1年)

問

私は、自分で撮った写真が貼れるオリジナル観光パンフレットの作成について提案する。きっかけは、士別市の魅力と特産品を市民が深く知る必要があること、士別の知名度をもっと上げたいと考えた。今、新型コロナウイルスと共存する社会が進む中、観光は1時間の移動圏内で旅行する「マイクロツーリズム」が目ざされている。また、1市3町(士別市、剣淵・和寒・幌加内町)で、北海道の自然やグルメ、体験を味わいながら、ゆったりとした時間を楽しむ「スロートリップ」を進めている。このマイクロツーリズムやスロートリップを最大限に活かし、観光を楽しむには、士別の魅力が一目でわかる「観光パンフレットの作成」が必要と考え、このパンフレットの内容について、4点考えた。

1点目は、市民が調査員となり、士別の歴史やまちの情報、観光スポットの魅力を集める。2点目は、「世界で1つしかないパンフレット」にするため、パンフレットに掲載する写真の横に自分好みで撮った

写真を貼れるようにする。

3点目は、全ての観光スポットを巡り写真を貼ることができた場合、士別市の特産品をもらえる特典を付ける。4点目は、人の動線づくりとして、写真をプリントアウトする機器の設置と写真を貼る場所は、まちなか交流プラザ「羊のまち 侍・しべつ」とし、全てこのプラザを発着点とする。私は、市民や市外の方に士別を満喫してもらうため、このパンフレットがあれば観光がより楽しくなり、このプラザに多くの方が来館すると考える。

答 (相山副市長)

士別には羊と雲の丘、色々な自然、食べ処、宿泊施設を載せた観光パンフレット、その場所を地図上で示したり、フレットがある。また、観光の取り組みとして、士別・剣淵・和寒・幌加内の1市3町で、時間を掛けてゆっくり楽しんでもらう「スロートリップ」を進めている。

そこで、色々な地区や年代の方が調査員になることについて、士別には、まだまだ知らない魅力あるスポットが点在しているので、この調査員が情報収集することによって魅力あるパンフレットができる。観光パンフレットについては色々な時期に作り替えるので、この提案を参考にしながら取り組みを進めたい。

次に、まちなか交流プラザ「羊のまち 侍・しべつ」は、来年のゴールデンウィークの頃にオープンするが、情報の発信など多くの方に来館してもらえるように考えている。この交流プラザを発着点として、色々な所を回って撮った写真を印刷し、パンフレットに貼ってオリジナルの観光パンフレットを作ることができれば、アルバムの様に自分の思い出として残る大切な物になることや交流プラザを多くの人に使うてもらえることもあるので、どのように取り組めるのかを検討したい。また、オリジナルの観光パンフレットが完成したら、特産品がもらえる特典だが、1市3町で「食と観光周遊スタンプラリー」を取り組んでおり、このスタンプラリーでも色々な施設を回ってハンコを押してもらい、スタンプの数によって地域の特産品がもらえるので、

ふりかえり

一緒に取り組むことができないかを考えていきたい。子ども議員の皆さんも魅力ある情報があればお寄せを頂きたい。

①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと

■自分の意見がまちづくりに反映されるかもしれないのはいいと思った。

②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみたかった調査

■子ども議会で提言した中にもあるが、士別市内の人しか分からない情報を収集してみたかった。

③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと

■あいさつが飛び交うまちなかになるように頑張りたい。

新型コロナウイルスの防止対策として、小・中学校で共同の教材を使用する特別教室へ消毒液の設置について



3番 萩田 優那 議員 (士別中学校1年)

問

私は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として、小・中学校で共同の教材を使用する特別教室へ消毒液の設置を提案する。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」での消毒液は、流水での手洗いができない際に補助的に用いられる物で、士別中学校では、流水での手洗いができない場所である玄関のみに設置している。

しかし、特別教室で授業がある場合は移動や準備に時間がかかり、休み時間の手洗いが混雑し、手洗いができないで授業に出席することもあつて、「パソコンを使用する授業」ではキーボード、「音楽室」では楽器などを多くの人が触れる。

そこで、感染症予防をより強化するため、現在玄関のみとなつている消毒液の設置を特別教室にも設置してはどうかと考える。また、手指消毒は新型コロナウイルスの感染予防だけでなく、インフルエンザウイルスにも効果があると言われ、現に消毒液を含めた感染症予防対策をしたことにより、今年のインフルエン

ザウイルスの感染者数は、昨年の千分の一にまで減少したとの記事を読み、これからの季節は、気温が低く乾燥しやすい時期となり、インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスの同時感染が心配されるため、一層の感染症予防に特別教室にも消毒液の設置が必要と考える。

答 (中峰教育長)

新型コロナウイルス感染症の取り組みをする学校の目安は、文部科学省が出しているガイドラインであり、この中の新しい生活様式における基本的な感染症対策として「手洗い・咳エチケット・換気」と、併せて3密の回避といわれ、感染経路を断つための1人ひとりが心掛けることは「手洗い・咳エチケット・免疫力の向上」となっている。

特に、「外から教室へ入る、給食の前後、清掃やトイレの後、共有の物を触る」といった場合は、こまめな手洗いが必要といわれている。このため、特別教室へ移動する時に、時間内に手洗いができないとの話で状況を調べたところ、士別中学校は、授業の前

後に石鹸での手洗いと必要に応じて消毒液を使用している。他の学校では、小学校3校(士別小・多寄小・糸魚小)と中学校2校(南中・朝日中)は、基本的に全部手洗いで、南小学校は、手洗いと消毒液を使用している。また、実際に特別教室へ移動する際に時間がないのかを調べたところ、ほとんどの学校は時間内に手洗いができている

回答であるが、士別中学校や他の学校からも、特別教室に行く時や別な場所に消毒液があつた方が望ましい回答もある。さらには、北海道教育委員会からのお知らせで、パソコン教室や音楽の授業で器具や楽器等を共有する場合は、使用前後の手洗いを徹底することになつてゐる。現在、各学校で共同で使用する器具や教材は、スクールサポートスタッフ、業務技師、先生が消毒作業をしており、少人数の学校は共有しない所もある。北海道の新型コロナウイルス警戒ステージが上がつている状況の中、学校でもハンドソープや自動のアルコール消毒噴霧器を設置しているが、まずは

手洗いで感染予防をしてほしい。また、全ての特別教室に消毒液を設置するのは、たくさんの方が必要のため、学校と相談することになるが、まずは、必要な消毒液の数を持ち運びしながら使つてほしい。

ふりかえり

①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと

■自分が伝えたいことの構成を考えて原稿を書くこと。

■市議会議員の方が短時間で原稿を考えているのを知つた。

②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみて良かったこと

■確実な情報を集めて、自分の意見を書くのが大変だった。

■情報収集の期間が短かつた。

③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと

■学校での作文や発表に議会で学んだことを生かしたい。

■市長、副市長、教育長の話で、士別市の取り組みなどに理解が深まった。

他の学校との交流について



4番 後藤 来斗 議員（上士別中学校1年）

問 僕は、他の学校との交流について提案する。

他の学校との交流を提案するきっかけが、僕は柔道を習っており、他の学校の生徒と一緒に練習や大会にも出場し、その中で仲間を作り、交流して楽しくスポーツをしている。

1つ目は、「部活動の交流」で、上士別中学校の部活動は、「卓球とバスケットボール」の2種目で、やってみたい部活動があっても、生徒の数が少ないためできない環境にある。現在、士別中学校と士別南中学校で一部の団体競技が部活動を合同で実施しており、これを「個人種目」にも広げることができると、専門知識を持った先生がいる学校で、やりたい部活動ができる。また、地域のスポーツクラブやスポーツ団体と連携すると、地域の方からスポーツを習うこともできる。小さな学校でも生徒がやりたいものを選び、充実した部活動を送れるようにしたい。

2つ目は、「体育の授業の交流」で、部活動と同様に体育の授業も限定した種目しかできないことや、やりたい球技の種目も物品がないためでき

ない。他の学校と一緒に授業ができるので、できなかった体育の種目を交流して楽しく授業ができ、物品の購入も必要もなくなる。

こうすることで、学校の枠を超えた交流と仲間づくりができ、人の成長にもつながると考える。

答（牧野市長）

士別市の学校同士が連携した部活動の取り組みについて、上士別中学校バスケットボール部は、和寒中学校と合同で活動をしている。士別中学校と朝日中学校の野球部、士別中学校と士別南中学校のサッカー部も合同チームで練習や各種大会に出場している。今、学校は、子ども達が少ないため、単独では団体の部活動が編成できないという問題があるので、今後は合同チームが重要になってくる。

部活動を個人種目に広げる場合は、学校同士の許可が必要なことや練習場への送迎など色々な課題があるので、決しながら交流できるように進めていきたい。

スポーツクラブやスポーツ

団体との連携について、市内には「中央・上士別・多寄・温根別」の地区にスポーツクラブがあるので、今後、色々な連携がとれると考える。

今、部活動の指導は、先生が行っているが、先生方も苦労されている状況。士別は、部活動を指導できる専門的知識を持った方が7名登録している。今後はこの登録者を増やしながら、土曜・日曜日の活動を中心に子ども達に色々な指導ができるように考えている。

合同の授業についても、小学校3校（士別小・多寄小・温根別小）で年2回実施している。今後、合同でできる授業を考えた時に移動時間のことはあるが、スキー学習は合同でできると考えるので、検討しながら進めていきたい。

さらに、友好都市の愛知県みよし市や姉妹都市のオーストラリア・ゴールバーンマルワリー市とは、ホームステイやスポーツを通して、お互いの市同士が20年以上にわたり深い交流を続けている。

これからも小学生・中学生・高校生が色々な交流ができるように進めていきたい。

ふりかえり

- ①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと
- みんなが色々と思っていることがあると感じた。
- ②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみて良かった調査
- 特になし。
- ③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと
- 学校のゴミ回収など、小さな活動からきれいな町にしていきたい。

電線に止まるカラス対策について



5番 黒川 瑚晴 議員 (士別中学校1年)

問

私は、電線に止まるカラス対策について提案する。

夏の夕方6時頃、下校している五条通り辺りの電線にたくさんのカラスが止まっており、仕事や部活から帰る時間帯に多くの人を通るが、カラスがたくさんいることによって糞がかからないか、襲ってこないかと心配で安心して道を通ることができない。上ばかり気にしていると前を見れず事故に遭ってしまう危険性もあるので、カラス対策として、2つの方法を調べた。

1つ目は、地中に電線を埋めて配線する工事であるが、多額の費用が掛かる。しかし、カラスが止まる電線がなくなるので、カラス対策としては一番効果があると思う。

2つ目は、電線に防鳥ライオンなどの鳥害防止器を設置する工事であるが、この方法は北海道電力が無料で実施することができるとのこと。実際に北海道電力が鳥害対策をした地域では、すぐく効果があり、数日後にはカラスが寄りつかなくなり、士別市役所の付近にも鳥害対策をした電線を発見したが、カラスが止まっていなかった。

答 (相山副市長)

私はどちらかの対策を取って、通学路に止まるカラスが減り、五条通りが安心して通れる道になってほしいと考えた。

カラスは、夏から秋にかけて夕方になると本当に真っ黒になるくらい電線に止まり、いつせいにカラスが飛び立つと、夕暮れの空が、なお暗くなる。時々晴れた日でも傘をささなければ糞がかかるのではないかと思いが通勤をしている。地球上には様々な生き物があり、人間や他の動物、昆虫や植物、命あるものは生態系を崩さないようにバランスを保ちながら、お互いにつながり、それぞれの役割を果たしており、鳥獣保護管理の法律上、鳥類のカラスは、無断で捕ることができない。元々カラスは凶暴な生き物ではないが、卵を抱えて子育てをしている時、巣に近寄ったりすると人間を攻撃することもあるので、危害を与える場合は、許可を取った中で駆除することができ、平成29年に4羽を駆除している。

このように、カラスを捕る

ことができないう場合の解決策として、1つ目に電線を地中に埋設する工事があるが、例えば、電線の地中埋設を1キロメートルした場合、約5億円以上の費用が掛かる。公共施設に例えると、北地区の子どもセンター、あいの実保育園、いきいき健康センターなどを建設する費用になる。

また、全道的にも色々な所でこの工事の要望もあり優先順位を決めながら実施しているため、すぐには工事ができないので、この方法は難しいと考える。

2つ目に電線に止まらない器具を取り付ける工事があるが、北海道電力において糞を落とすような被害がある場合には、調査をした上で、工事の実施は可能と確認をしている。このことについては、多くのカラスが電線に止まり被害が発生するような時期に、北海道電力と連携して、調査を行い対策方法を協議していきたいと思う。

また、電線に器具を取り付ける工事を実施後、逆に電線に止まらなくなったカラスが周辺の家などに止まって困ることにならないように、全体

的なことも視野に入れながら、対策をしていきたいと考える。

ふりかえり

①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと

■議会のような雰囲気では、人の前で話したことがなかったので、子ども代表として皆さんの前で発表することができた。経験になった。

②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみたい調査

■自分でどのような対策方法があるのかを考えるのが難しかった。

■何かを提案したりする時は、自分が思っていたよりも情報をたくさん集めて知っておくことが必要だということを学びました。

③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと

■子ども議会で、士別市がよりよい町になるように考えたが、今後もそのことを活かしながら考えを深められるようにしたい。

学校への持参ご飯の食中毒対策について



6番 おかやま あやり 岡山 綾莉 議員 (士別南中学校1年)

問 私は、学校への持参ご飯の食中毒対策を提案する。

私が通う士別南中学校は、夏の持参ご飯について、食中毒が心配な人は先生が涼しい場所に保管する対策をしているが、クラスに1人又は2人程しか保管していない状況で、食中毒の危険性を十分に理解されていないと感じた。

今年、名寄保健所で食中毒警報が発令したのは「38日間」

で、その内、学校の給食時間に警報が出たのは「25日間」である。持参ご飯は、ご飯を詰めてから約5時間放置されるので、この状態だとお弁当箱の中の水滴から菌が増殖し、食中毒を引き起こす可能性が高まると思うので、持参ご飯に対する食中毒を引き起こさないための対策を提案する。

それは、小・中学校の教室に大きな保冷バックを用意し、クラス全員が持参ご飯を保冷バックに入れることで、特に食中毒警報が出た場合は、必ず全員がご飯を保冷バックに入れ、教室の涼しい場所に保管します。

この対策を行うことで、食中毒の可能性が低くなり、児童・生徒が安心して給食を食

べられる環境になると考え、そして、保護者の持参ご飯に対する食中毒対策の負担も軽くなると考えた。

士別市では、給食の食中毒が発生した例はないが、過去7年間で、30度以上を記録した日数は今年が1番多かったため、この対策を行い、食中毒の知識や認識を再確認し、安全安心な給食時間にしてほしいと考える。

答 (中峰教育長)

士別の学校給食は昭和45年1月から主食をパンとして開始され、昭和63年8月からは、持参ご飯を週2回、米飯委託業者1回を含め米飯週3回、それ以外の日をパンと麺にしている。持参ご飯を導入了した理由は、第1に美味しいお米が取れる地域であること、家庭でも良質のおいしい米を購入できる。第2には、経済的理由があり、委託業者に頼んだ場合、現在の価格に換算すると、1食当たり18円ぐらい掛かる。この持参ご飯については、保護者の強い要望と家庭の負担が軽減されるので、この方式を取り入れている。最近では、気候の変

動で食中毒警報発令も増加している状況で、学校給食センターも今まで以上に、安全安心でおいしい給食を提供する努力をしているが、家庭においても衛生対策をした持参ご飯の協力を頂いている。学校給食センターにおいて家庭で炊いたご飯を常温保存した場合の安全性の調査確認をしている。その結果は直射日光を避け比較的涼しい場所に保管した場合は、給食時間に食べることは安全面では問題ないと保健所から見解をもらっている。もう1つ、具体的な調査として、衛生管理下で炊いたご飯を、高温で湿度が高い状況で常温保存した場合に、約6時間程度は傷まないと検証もされている。ご提案の保冷剤を入れた保冷バックに入れることは、安全性が高まり心配は減ると思うが、ご飯を冷やすとでんぷん質のため固くなり、おいしさも感じなくなること、食べ残しが増えたりする問題もあり、現状の食中毒を防ぐ対策は、安全面で一定程度大丈夫なため、心配な場合は家庭で保冷剤を入れる工夫で、当面は対応してほしい。今後も、安全に給食を

提供する方法を検討し、学校での適切な管理も研究していきたい。

ふりかえり

①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと

■議会は市民の本音を聞ける場所であること、議会があることで住みやすいまちに変えることができると思った。

②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみたい調査

■不安や心配などをどのよう
に解決できるかを考えることが難しかった。

■友達や家族に不安に思っていることを聞いて考えられた。

③子ども議会を終え、士別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと

■士別市は住みやすくいい所と紹介できるようにしたい。

■士別をPRできるような活動に参加したり、学校では自分の意見をしっかりと出せるようになりたい。

岩尾内湖展望台の環境整備と岩尾内白樺キャンプ場への遊び場の設置について



7番 城守 喜湖 議員 (朝日中学校1年)

問

私は、岩尾内湖展望台の環境整備と岩尾内白樺キャンプ場への遊び場の設置を提案する。

岩尾内湖展望台は、1階がトイレ、2階と3階が展望台になっており、湖や天塩岳道立自然公園の四季折々の景色を眺望できる施設で、特に春の岩尾内湖の満水時や秋には紅葉のとてもきれいな景色を見ることができると。しかし、私が今年の夏に父と展望台に行った時、周りの木が大きく視界をさえぎり、湖の景色を見ることができず、残念な気持ちになった。また、1階のトイレは使用禁止となっており、展望台を訪れた方がトイレを利用したい場合は、数キロメートル離れた白樺キャンプ場まで行かなければならず、とても不便だと感じた。景色を大きくさえぎる木の枝の伐採とトイレを使用できるように整備をしてほしい。このことが、展望台へ訪れる客の増加や岩尾内湖のPRにもつながると考える。

次に、岩尾内白樺キャンプ場の整備について、名寄市や東川町の森林公園等は、キャンプ場と遊具や水遊び場など

が併設され、親子で楽しむことができる場所である。大自
然に囲まれた白樺キャンプ場
は、バンガローや管理棟・炊
事場など施設も充実され、釣
りや自然散策、夜はとてもき
れいな星空を見ることができ
る。キャンプシーズンになる
と全国から多くの方が訪れる
ので、このキャンプ場にも、
子どもが楽しめる遊び場があ
れば、魅力的なキャンプ場に
なると考える。

答 (牧野市長)

岩尾内湖展望台は、土地の
所有者である岩尾内ダム管理
所から借用し昭和59年に設
置した。しかし、トイレは沢
水を利用してはいるため土砂が
詰り管理運営に苦慮してい
た。平成12年に白樺キャン
プ場の管理棟ができたことに
より、管理棟のトイレを利用
してもらい、展望台のトイレ
は閉鎖した経緯があり、今後
展望台のトイレを再開するこ
とは難しい。トイレの対応に
ついては、展望台の手前に位
置する岩尾内ダム管理支所の
トイレを利用することが可能
で、時間に制限があるが土
曜・日曜日も開放しており、

トイレや岩尾内ダムの歴史や
休憩もできるなど施設が充実
し、さらに春・秋の季節ごと
の景色も一望できることもあ
るので、この施設を周知しな
がら多くの方に利用してほし
いと考える。

岩尾内湖の景色を遮る木に
ついて、木が相当な崖に生え
ており伐採する場合は大変な
工事になるが、この問題を子
ども議会でも提案されるため、
岩尾内ダム管理支所と協議を
した結果、今年度中にしっか
り木を伐採する返事を頂い
た。相当な事業になると考え
るが、春には展望台に上がる
と美しい湖の景色を眺めるこ
とができるので、大変良い結
果となった。

白樺キャンプ場は、コロナ
禍の影響もあり、48350
人が訪れ、昨年の3倍の人と
なった。以前この湖畔周辺に
は、ホテルやゴーカートなど
色々なものがあつた。岩尾内
の湖畔については、雄大な景
色と森林が融合した大自然を
楽しめることを売りにした場
所のため、多くの方にその魅
力を楽しんでほしいので、名
寄市や東川町などにも色々な
施設があるが、キャンプ場内

に子ども達が楽しく遊べる遊
具などの設置については難し
い。

今、コロナ禍でアウトドア
が注目されているので、より
一層多くの方に来てもらえる
場所にしていきたい。

ふりかえり

- ①子ども議会に参加して学んだことや感じたこと
- 礼儀を正しくすること。
- 自分の意見を詳しく言うこと。
- ②調査研究をし、学んだことや難しかったこと、もっとやってみたい調査
- いつも使わない言葉を書いたり言ったりするのが難しかった。
- ③子ども議会を終え、土別市をもっと良い街にするため、挑戦したいこと
- ゴミ拾いや新聞回収などにも積極的に取り組めるようにしたい。
- 夏休みに行うラジオ体操をするときスッキリするので、毎日できるようにしたい。

市長からのお礼挨拶

子ども議会の終了にあたり一言ご挨拶を申しあげます。

まずは、各中学校からの代表として子ども議員の皆様は、非常に内容のある調査研究を重ね、素晴らしいご提言を頂いた。そして、良い回答や回答できなかったことも、しっかりと今後協議しながら一歩一歩進められるように努力をしたいと考える。

今日まで数多くの子ども議員の皆様からご提言頂いた内容を実施しているが、愛知県みよし市との研修派遣、部活動の応援をする休日、暗い所に街路灯を設置、公園のトイレの洋式化、上士別児童公園などに遊具の設置、インフルエンザワクチンの13歳未満の予防接種の助成を実施している。また、昨年の子ども議員のご提言で、信号のない横断歩道について、「歩行者優先」のマグネット式ステッカーを作成し、1市3町（士別市、剣淵・和寒・幌加内町）の公用車の後方に付けている。これは市・町のみならず、各自動車関係の団体も

このステッカーを作成して協力を頂いている。この地域を安全安心な地域にしたいということ、4月からこの取り組みを進めている。

これからも、貴重で新鮮なご提言を頂きながら、色々な取り組みをしていきたいと考える。皆様方は中学生です、色々なものに目標を持ってチャレンジしてほしい。簡単に成功しませんが、失敗することで人間は成長する。皆様は地域の宝、経験を積んで大きく成長してほしい。

コロナの関係ですが、士別市は「コロナ差別禁止宣言」を出した。士別市では、安全で安心なまちづくり条例があるので、みんなで心と思いをやりを持ちながら差別をしないように進めていきたい。また、農村部を含め光回線を整備する。現在は士別と朝日の中央市街地しか整備されていないが、今後1年半か2年ぐらいで全部整備するので、今後は自宅で色々なオンライン学習などができるようになる。アフターコロナは地方の時代、これからも一生懸命に取り組んでいきたい。今日は教育委員の皆様、保

護者の皆様、関係する皆様には感謝を申し上げます。また、市民の皆様も議場で傍聴することはできなかったが、インターネットで生放送を見ていることと思う。

最後になりますが、しっかりと勉強されて今日このように大きな素晴らしい提言をして頂いた子ども議員の皆様には感謝を申し上げて、結びの挨拶とする。



士別市子ども議会

子ども議会議長



【後半議長】

後藤田 来斗 議員
(上士別中学校 1年)



【前半議長】

城守 喜湖 議員
(朝日中学校 1年)

子ども議会の流れ

市内4校の中学校から推薦された7名の生徒が子ども議員となり、5回の事前学習を通して、自らが身近に感じることや土別市の未来への想いを提言や要望として文章にまとめ、子ども議会に臨みました。

子ども議員任命式

第1回事前学習会

令和2年8月24日（月）午後4時～午後5時30分
土別市民文化センター

【子ども議員任命式】

■ 任命書の交付と市長・副市長・教育長の挨拶

【第1回事前学習会】

■ 講義「市議会のしくみや議員の役割」

（総務産業常任委員会委員長 村上 緑一氏）

■ 講義「土別市のまちづくりについて」

（総務部企画課副長 久光 徹氏）



第2回事前学習会

令和2年9月9日（水）午後4時～午後5時40分
士別市議会本会議場

■質問テーマの決定と議長・副議長の選出

第3回事前学習会

※第3回事前学習会は会場を分散して実施

①令和2年9月24日（木）午後4時～午後5時30分

士別市民文化センター（士別中・士別南中の子ども議員）

あさひサンライズホール（朝日中の子ども議員）

②令和2年9月29日（火）午後4時～午後5時30分

上士別公民館（上士別中の子ども議員）

■質問テーマの調査研究と質問通告書の作成

第4回事前学習会

※第4回事前学習会は会場を分散して実施

①令和2年10月12日（月）午後4時～午後5時30分

士別市民文化センター（士別中・士別南中の子ども議員）

上士別公民館（上士別中の子ども議員）

②令和2年10月15日（木）午後4時～午後5時30分

あさひサンライズホール（朝日中の子ども議員）

③令和2年10月16日（金）午後2時30分～午後3時30分

士別中学校（士別中の子ども議員1名）

■質問通告書の完成

第5回事前学習会

令和2年12月14日（月）午後4時～午後5時30分
士別市議会本会議場

■本番に向けた総練習

議員報告会

令和3年2月26日（金）午後4時～午後5時

士別市民文化センター

■感想発表

■市長からのお礼の言葉



本番に向けた総練習風景

子ども議会当日



中峰 寿彰 教育長



相山 佳則 副市長



牧野 勇司 市長



令和2年度 士別市子ども議会だより 令和3(2021)年2月26日発行

【発行編集】士別市 士別市教育委員会生涯学習部中央公民館

〒095-8686 士別市東6条4丁目1番地 士別市民文化センター内

電話・FAX / 0165(23)3358

メール / kohminkan@city.shibetsu.lg.jp

【士別市HP】 <http://www.city.shibetsu.lg.jp>